

授業

In My Case | 1・2年次



1年次

「文化人類学」や「民俗学」、「西洋美術史(鑑賞を含む)」に興味津々
「文化人類学」と「民俗学」では、世界から見た日本の問題や日本の伝統について学び、新たな角度から物事を知ることができました。「西洋美術史(鑑賞を含む)」では、先生がルーヴル美術館の解説をしてくださり、西洋美術を身近に感じられました。

2年次

「書芸術の鑑賞」を学び
書の鑑賞の幅が広がった

今まで美術館に書が飾られていても、何が書いてあるか分からず通り過ぎてしまっていたのですが、この授業で書体や書風を教わり、作品が生まれた時代背景や作者の歴史を知っていると、もっと見方の幅が広がることになりました。



書が展示される書道教室

ATOMI
のひとみ

西洋美術を学んできたからこそ、今度は日本の美術史を

美術史となると、近代を学ぶことが少ないので、だからこそ、現在の日本人画家がどんな活動や活躍をしているのか知りたいと思いました。将来は、美術には自由な発想力と無限の可能性があることを伝えられる教員になりたいです。



古代日本文学

植田 恭代 准教授

文学作品を時代背景とともに探り、現代に生きる力を養う

日本の「古代」といわれる時代に、文学がどのように発生し展開していったのかを考えます。どの時代にも、それぞれの社会で生きる人々がいて、私どもと同じように感じ、考え、日々の生活のなかから文学作品が生まれてきました。個々の文学作品に向き合い、時代背景をふまえてその特徴を知り、「古代」の日本文学に対する理解を深める。それを通じて、現代をよりゆたかに生きる力を養うことを、この授業ではめざしています。

西洋図像学

篠塚 二三男 教授

絵画から宗教や神話を探る

ギリシア神話やキリスト教をテーマにした西洋絵画の意味内容を読み解いていくことで、広い知識や確かな判断力だけでなく、「豊かな感受性」も養われます。プロジェクター画像を使いながら丁寧に講義を行います。

人文学特殊講義 (国際教養)

笹島 雅彦 教授

日米中の相互信頼を築くために

この講義は、日米中関係の現状を理解し、3カ国の相互信頼を築くにはどうしたらいいのか、みんなで考え、討論を積み重ねる授業です。豊富な取材体験をもとに、歴史問題や尖閣問題などの因果関係を深層から探ります。

クローズアップ

ゼミナール

ゼミナールは、少人数のメンバーで行われる対話型の授業スタイル。調査・研究・発表の方法を学び「演習」とも言われます。



人文学演習

香山 はるの 准教授

イギリス文学を探究し、自分の考えを明確に伝える

ジェーン・オースティンやブロンテ姉妹など英国女性作家の小説を研究しています。自分の考えを明確に説明する力を養うために、学生一人一人が発言する機会を多く作っています。たとえば、いくつかのグループに分かれて『ジェーン・エア』はシンデレラ・ストーリーと言えるか、『嵐が丘』の語り手は、なぜ家政婦のネリーなのか等、ディスカッションし、その内容を発表します。小説をさまざまな角度から見る練習にもなります。

卒業論文・卒業研究のテーマ (2014年度/一部抜粋)

- 『伊勢物語』の「色好み」の一考察
— 在原業平の虚像と実像
- 夕顔巻における白色の役割
- 『源氏物語』における浮舟の役割 — 形代としての存在
- 映画作品に表れた英語口語表現の研究
- 映画作品の英語字幕表現の研究
- 映画作品が与えた社会的影響の研究
- 与謝蕪村 絵から読み取る蕪村の「言葉」
- 海を見る人 — 酒井抱一の月魄
- 長谷川等伯 — 「柳橋水車図屏風」と3つの集大成—
- 竹久夢二は何者か — 〈夢二式〉の四季から—
- 奇想の画家若冲の生涯
- MUSYAE! 月岡芳年のオリジナリティー
- 無残絵 ～血みどろの美～
- 近世富岡市域における山林と入会
- 名所絵から読み解く江戸の「日常」と「非日常」
- 琉球王国グスク時代の発展
- 風俗画にみる芸能と遊楽

In My Case | 3・4年次



3年次

資格に関する専門科目で博物館の楽しみ方が倍増

学芸員の資格取得のため、博物館に関する科目を取りました。「博物館資料論」では、実際に博物館に足を運びレポートを作成。資料の展示構成についても授業で学んだので、これまでとは違った視点で楽しめるようになりました。



課題のため江戸東京博物館へ

4年次

卒業論文では地域の交通史について調査

4年生では歴史を学び、近世の交通史について卒業論文を書きました。私は自分の暮らしている地域をよく知りたかったので、日光御成道の宿場、大門宿について調査。知識が深まるとともに地元愛が生まれました。

ATOMI
のひとみ

さまざまなことに興味をもって毎日を充実させたい

「人文学特殊講義」の授業で西洋美術史に関心が高まる一方で、「総合科目」では歌舞伎や浮世絵に興味をもつなど、さまざまな分野の授業を受けて視野が広がりました。社会に出ても多くのことに関心をもち続けたいです。